

令和8年度日米共同統合演習（実動演習）（キーン・ソード27） における霧島演習場の使用について

1. 演習の目的

各種事態における日米共同対処及び自衛隊の統合運用について演練・検証し、日米共同統合運用能力の維持・向上を図るもの。

2. 演習概要等

【訓練実施期間】

令和8年10月19日（月）～同月29日（木）

※本期間の約2週間前から展開を、期間後約1週間の間において撤収を行います。

【訓練実施場所】

○九州抜粋

- ・福岡県：航空自衛隊春日基地、航空自衛隊築城基地、航空自衛隊芦屋基地、陸上自衛隊飯塚駐屯地等
- ・大分県：陸上自衛隊日出生台演習場、陸上自衛隊十文字原演習場等
- ・佐賀県：陸上自衛隊目達原駐屯地、航空自衛隊背振山分屯基地
陸上自衛隊大野原演習場等
- ・長崎県：陸上自衛隊相浦駐屯地、海上自衛隊佐世保基地、
陸上自衛隊大野原演習場、米海軍佐世保基地等
- ・熊本県：陸上自衛隊健軍駐屯地、陸上自衛隊高遊原分屯地
陸上自衛隊大矢野原演習場等
- ・宮崎県：**陸上自衛隊霧島演習場**、航空自衛隊新田原基地、航空自衛隊高畑山分屯基地等
- ・鹿児島県：陸上自衛隊霧島演習場、陸上自衛隊奄美駐屯地、海上自衛隊鹿屋航空基地、種子島等



3. 霧島演習場における訓練の概要

○霧島演習場においては、

⇒ 日米の共同調整所における指揮機関訓練

⇒ 日米共同による対着上陸戦闘訓練、対空戦闘訓練、兵站訓練(空中投下を含む。)、衛生訓練

陸自単独による対艦戦闘訓練を実施するとともに、陸上自衛隊航空機及び米海兵隊航空機の駐機、燃料補給、整備等を実施する計画です。

○期間は、令和8年10月19日(月)～29日(木)を計画しています。

※本期間の約2週間前から展開を、期間後約1週間の間において撤収を行います。

○参加部隊は以下のとおりです。

自衛隊：陸上自衛隊 約1400名(北部方面隊、第2特科、第2高射特科団等)

(12式地对艦誘導弾、10式戦車、16式機動戦闘車、87式自走高射機関砲、

93式近距離地对空誘導弾、03式中距離地对空誘導弾、81式短距離地对空誘導弾、

V-22×4機程度、CH-47×8機程度、UH-60×2機程度、AH-64×2機程度、UH-1×8機程度等)

航空自衛隊 C-2×1機程度、C-130×3機程度等※ 訓練に参加する装備品の輸送で使用

米 軍：米海兵隊 約250名(第12海兵沿岸連隊)

MADIS(海兵隊防空統合システム)、MV-22×3機程度、C-130×1機程度等

注：員数や参加部隊は現時点で計画中のものである。

訓練イメージ



共同対着上陸戦闘訓練



共同兵站訓練(補給品の空中投下等)



共同衛生訓練



対艦戦闘訓練

4. 訓練日程（霧島演習場における予定）

月	10																	
日	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
曜	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
訓練予定	展開、装備品輸送、訓練準備															訓練開始		
	航空機の飛行																	航空機の飛行

月	10										11							
日	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8
曜	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	月	木	金	土	日
訓練予定	実動訓練 （共同対着上陸戦闘訓練、共同対空戦闘訓練、 対艦戦闘訓練、共同衛生訓練等） 空中投下								訓練終了	撤収準備、装備品輸送、撤収（移動）※								
	航空機の飛行									航空機の飛行								

※ 移動の期間は約9日間程度を見込んでいますが、準備が整えば、速やかに移動を開始する予定です。

<Q&A>

Q 1 霧島演習場への展開・撤収の時期や方法は？

訓練準備のため、10月8日（木）頃から陸上自衛隊が霧島演習場に展開を開始しており、10月12日（月）頃から米海兵隊の人員及び装備品が、展開する予定です。

陸上自衛隊は陸自車両で展開し、米海兵隊は米側が契約した業者の車両（バス、トレーラー等）で展開します。また、物資・人員の輸送のため、航空機が飛行する可能性があります。

10月29日（木）の訓練終了後、陸上自衛隊は11月7日（土）頃までに、米海兵隊は11月5日（木）頃までの間に、演習場展開時と同様の移動手段で撤収する予定です。

なお、演習場への車両での展開・撤収の際は、交通ルールを順守するなど安全に配慮するよう、日米の訓練参加部隊（米契約業者含む）に周知徹底します。

Q 2 実弾射撃は実施するのか？

霧島演習場においては、実弾を使用した訓練は予定していません。

ただし、訓練において空包は使用します。

Q 3 夜間及び休日に訓練は実施するのか？

訓練は夜間及び休日にも実施する予定ですが、訓練の実施に際しては、演習場の使用規則等を遵守し、皆様の生活に支障がないよう可能な限り配慮いたします。

Q 4 航空機の飛行ルートは？

航空機による演習場への進入及び退出ルートについては、**周辺住民の皆様に十分配慮したルート**を使用するよう日米間で確認し、基本的に西側から進入及び退出するようにしています。しかしながら、**当時の天候等により、やむを得ず北側から進入及び退出する**可能性があります。

特に米航空機の飛行ルートについては、十分に注意するよう調整しています。

Q 5 訓練期間中の演習場外への外出は？

本訓練に参加する米軍人は、演習場内宿泊を基本としますが、訓練の支援等を行う一部の軍属等の米軍関係者は周辺の部外ホテルに宿泊する可能性があります。

演習場内に宿泊する米軍人は、食事、入浴を含めて活動は演習場内で行う予定ですが、**必要に応じ、生活に必要な物資を購入等するためにレンタカー等で外出する**可能性があります。

また、外出に際しては、**米軍に対し、綱紀粛正の徹底**をお願いしています。

訓練における安全性の確保には万全を期してまいります。
皆様の、ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

霧島演習場において使用する主な装備品（自衛隊）（1／2）

【資料1】

装備品	写 真	装備品	写 真	装備品	写 真
89式小銃		01式軽対戦車誘導弾		10式戦車	
20式小銃		84mm無反動砲		16式機動戦闘車	
5.56mm機関銃 MINIMI		120mm迫撃砲			
対人狙撃銃		81mm迫撃砲			
12.7mm 重機関銃					

※空包を使用する予定ですが、実弾を使用する計画はありません。

霧島演習場において使用する主な装備品（自衛隊）（2／2）

装備品	写 真	装備品	写 真
12式地对艦誘導弾		AH-64	
03式中距離 地对空誘導弾		UH-1	
81式短距離 地对空誘導弾		UH-60	
93式近距離 地对空誘導弾		CH-47	
87式自走高射 機関砲		V-22	

※これらの火器を使用する計画ですが、すべての火器で実弾を使用する計画ではありません

装備品	写 真
M4自動小銃	
M240機関銃	
M24 対人狙撃銃	
MAD I S	
MV-22	

※空包を使用する予定ですが、実弾を使用する計画はありません。